

# 戸嶋町政 2期目スタート



任期満了による美浜町長選挙が2月21日に告示され、現職の戸嶋秀樹氏が、無投票で当選されました。今月号では、2期目にあたる戸嶋町長のまちづくりの方針についてお聞きしました。



## プロフィール

戸嶋 秀樹(としま ひでき)  
 昭和32年7月1日生(65歳)・宮代在住  
 趣味：ウォーキング  
 座右の銘：誠心誠意  
 - 経歴 -  
 昭和57年3月 鳥取大学農学部卒業  
 昭和57年4月 福井県庁へ奉職・農林水産部  
 農村振興課長等を歴任  
 平成26年4月 副町長に就任  
 平成31年3月 町長に就任  
 令和5年3月 町長2期目に就任

「まちづくり」の  
新たなステージへ!!

## 「まちづくり」3つの柱

- ①住んでいることに幸せと誇りを  
実感できる「まちづくり」  
 ◎「地域愛」に満ちた未来を拓く、「人づくり・地域づくり」を進めます  
 ◎子どもから高齢者まで誰もが「健やかで温もりあふれる地域づくり」を進めます  
 ◎成長ステージに合わせた「きめ細やかな子ども・子育て支援」を充実します  
 ◎誰もが楽しく集う、笑顔と活気あふれる「にぎわいゾーン整備」を進めます  
 ◎住民の生命財産を守り、安心して暮らせる「防災・減災対策」を充実強化します
- ②夢と希望・活気あふれる産業を育む「まちづくり」  
 ◎美し自然と食を育む、「持続可能な農林水産業」の実現に向け支援します  
 ◎豊かな地域経済を育む「活力ある商工業」の実現に向け支援します  
 ◎安全安心を最優先に「原子力や再生可能エネルギーと共生」するまちづくりを進めます
- ③誰もが訪れたい・住みたい・応援したい「まちづくり」  
 ◎新幹線時代を見据えた「観光誘客・おもてなし環境づくり」を進めます  
 ◎若者世代の移住・定住に繋がる「魅力ある生活環境づくり」を促進します

## 「まちづくり」推進力

「まちづくり」を着実に推進するための地域力・行政力の強化

- ◎住民主体の「地域づくり・集落づくり」を強力に支援します
- ◎次世代を見据えた「持続可能な行財政運営」を進めます

わたしの夢、語ります

平岡 <sup>かれん</sup>海恋 さん 美浜西小学校 6年(早瀬)

## 世界中のみんなを笑顔に

私の夢は、世界中のみんなを笑顔にすることです。ステージや舞台に立って、みんなに笑顔と感動を届けられるような人になりたいと思っています。

理由は、メディアに出ている人たちを見て「私もこんな風に輝いて、世界中のみんなを笑顔にしたい!」と強く思ったからです。

夢を叶えるために、まずは自分磨きを頑張りたいと思っています。まずは内面。生活態度等を改めて、内面から輝く綺麗な女性になることから始めたいと思います。

いつか夢を叶えられる日まで、諦めずに頑張っていきたいです。



## CONTENTS 目次 広報みはま2023年4月号

- 2 私の夢、語ります/表紙の写真/目次
- 3 戸嶋町政 2期目スタート
- 6 美浜町レイクセンターオープン
- 10 美し美浜の地域愛表彰
- 11 お気に入りの一冊コンテスト入賞者発表
- 12 美浜町地域公共交通計画を策定
- 14 令和5年度 予算
- 16 美浜町での暮らしを応援します!!
- 18 地域あいあいポイント事業ポイント交換のご案内
- 20 まちウォッチング  
なびゲランド/美し美浜プレミアム学校給食/観光ガイド育成講習会 他
- 22 情報BOX  
人間ドックの検診費用を助成します/美浜町デマンド交通運行実証事業 他
- 27 美浜の環境シリーズ156
- 28 美浜発電所の状況について
- 29 ふるさと昔よもやま話132/文芸欄
- 30 すこやか放送局
- 32 ハートフル広場  
はじめてのバスデー/町人さん/慶弔/人口の動き/広報クイズ
- 34 ぐらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



3月7日の戸嶋町長初登庁の様子です。

町職員が出迎える中、花束を受け取った戸嶋町長は役場庁舎の正面玄関から登庁し、2期目となる戸嶋町政が始まりました。

# 地域愛あふれる

## 豊かなまちづくりを目指して

——まずは、2期目の当選にあたり、現在の心境をお聞かせください。

このたびの町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面から力強いご支持とあたたかいご厚情を賜り、3月7日をもって引き続き2期目の町政運営の重責を担わせていただくこととなりました。

町政を担う責任の重大さを改めて痛感し、身の引き締まる思いと、新たなステージで地域愛あふれる豊かなまちづくりに向けて、誠心誠意・一生懸命取り組み決意を新たにしているところです。

——1期目を振り返り、どのように感じていますか。

1期目の4年間は「任んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり」、「夢と希望・活気あふれる産業を育むまちづくり」、「誰もが訪れたくなる・住みたくなる・応援したくなるまちづくり」を進めるべく、必要な施策を機動的に取り組んできました。また、まちづくりの推進力となる「地域力」や「行政力」の強化とその源泉となる「地域愛」の醸成に努めてき

ました。

具体的には、北陸新幹線敦賀開業の効果を見据えた観光資源の磨き上げをはじめ、町のにぎわい創出の拠点となる「にぎわいゾーン」整備、防災情報伝達基盤の更新・強靱化等、安全安心な生活環境の充実、地域愛の醸成と地域活動の活性化等、1歩ずつではあります

が着実に歩みを進め、美浜町の将来につながる礎を築くことができたと考えています。

——「まちづくり」3つの柱について、それぞれのように進めていきますか。

● **任んでいることに幸せと誇りを実感できる「まちづくり」**

まず、まちづくりの根幹である人づくりと地域づくりが第一だと考えています。任んでいる人が「地域愛」を持ち、健康長寿で安心・安全に暮らせることで、美浜に住んでいることに誰もが幸せと誇りをもって活躍できる環境を整えていきます。

そのための取り組みとして、美浜ほっと子育て応援プロジェクト等

——「まちづくり」3つの柱を実現するための政策について教えてください。

「まちづくり」3つの柱を推進するには、地域力と行政力の強化を更に推進する必要があると考えています。

地域力の強化については、それぞれの地域で課題について話し合い、地域の皆様で作り上げる「集落元気プラン」が機能してきており、これを契機に佐柿区や菅浜区にて地域活性化のための法人が立ち上がる等、地域主体の活動が芽生えてきています。

また、町外から美浜をアクティブに応援していただける「みはま応援クルー」による地域活動等へ

の成長ステージに合わせたきめ細やかな子育て支援やげんげん歩楽寿を中心とした健康づくりの推進、集落元気プラン等で積み上げた多様な発想と意欲ある地域づくり活動への支援等を行っていきます。

6月2日には、道の駅若狭美浜はまびよりが開業します。JR美浜駅やイチゴ観光農園HAMABERRY、なびあす等との相乗効果を引き出すことで、「にぎわいゾーン」の機能を充実し、誰もが楽しく交流できる空間の整備を進めていきます。

また、住民の皆様が安心して暮らせるように、洪水情報伝達網の構築や集落防災体制の強化、避難施設の強靱化による地域防災力の充実強化を進めます。

● **夢と希望・活気あふれる産業を育む「まちづくり」**

町の自然と食を育む「持続可能な農林水産業」と豊かな地域経済を育む「活力ある商工業」を目指し、取り組みを進めていきます。

まず、農業では、生産性の高い稲作や園芸基盤の整備、農業従事

の参画の拡大を図りながら、住民が主体となる地域づくりや集落づくりを強力に支援することで地域力の強化を図ります。

行政力の強化については、美浜町行政改革大綱に基づき、計画的な将来を担う人材の育成や健全な行政組織の運営等に努めます。また、町情報化推進計画に基づきデジタル技術による新たな価値やサービスを創出し、誰にでも優しい「暮らし・産業・行政のDX」

を強力に推進することで、次世代を見据えた「持続可能な行財政運営」を進めていきます。

——原子力行政については、どのようにお考えですか。

エネルギーは水や食料とともに、国の根幹をなす重要な資源の1つです。しかしながら、我が国は、そのエネルギー危機に直面し、更には地球温暖化に起因する甚大な自然災害も頻発しています。こうした状況のもと、エネルギーの安定供給、安全保障、脱炭素化に資する原子力発電の果たす役割は極めて大きく、将来的にも必要であるものと考えます。

町では、これまで半世紀にわたり、国策に協力していくという強い信念と誇りを胸に、原子力との共生に努めてまいりました。これからも、

者等の育成強化施策を推進します。林業では、令和4年10月に策定した「わかさ美浜町森づくりプラン」に基づき、町民参加による「みんなで創る森づくり活動」を推進していきます。

水産業では、ひるが響等の水産ブランドを活用した次世代につながる水産業の振興と新たな水産資源の特産化に向けた取り組みを支援します。

商工業では、商工団体と連携し、企業や経営基盤の強化につながる支援策を充実するとともに、企業誘致や雇用の拡大、交流人口の拡大を見据えた地域経済活性化対策を推進します。

● **誰もが訪れたくなる・住みたくなる・応援したくなる「まちづくり」**

北陸新幹線敦賀開業が令和6年春に迫っています。100年に1度のチャンスともいわれているこのタイミングを逸することなく、観光誘客やおもてなし環境づくりを行っていきます。

具体的には、4月12日にオープ

町民の皆様の安全・安心の最大限の確保を前提に、原子力と共生するまちづくりを進めていきます。

とりわけ、本町の避難道路は東西方向に限られているため、滋賀県方向への道路新設に向けて、引き続き国や県、関係機関に要請を行い、避難道路や制圧道路の多重化・強靱化に努めていきます。

——最後に、町長から町民の皆様へのメッセージをお願いします。

現在、町では、第五次美浜町総合振興計画に掲げるまちの将来像「みんなで創り、絆ぎ集う美し美浜」の実現に向け、さまざまな施策を展開しています。

日本全国、また、本町においても人口減少や少子高齢化等の大きな課題に直面しています。この将来像の実現には、行政の取り組みだけではなく、町民の皆様一人ひとりがまちづくりに参画し、自分ごととして考えていただくことによる協働のまちづくりが必要不可欠です。

町民の皆様と行政が地域課題を共有して、協働で取り組む体制を強化し、地域愛あふれる豊かな町の実現に向け、1歩ずつ着実に歩みを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。



美浜町のまちづくりについて語る戸嶋町長



4月12日(水)

# 美浜町レイクセンター OPEN

湖面と湖周から三方五湖の魅力にふれる



※お問い合わせ先  
町観光戦略課(担当:武田)  
☎ 32-6705

## 令

和6年春の北陸新幹線敦賀開業等を見据え、三方五湖エリアの魅力をもっと高めるため整備を進めてきた美浜町レイクセンターと電池推進遊覧船の関連工事が完了し、4月12日に開業することとなりました。

今月号では、これまでの経過を含め、新たに生まれ変わった施設を紹介いたします。

### 遊覧船事業の再開に向けて

平成28年12月、町の観光を牽引してきた三方五湖を巡る観光遊覧船が運航を終了しました。

町では、観光関係者等から存続を望む声があったことも踏まえ、町内の商工・観光関係者等の意見を伺いながら、付加価値を付けた遊覧船事業の再開に向け、可能性調査を行いました。

調査の結果、遊覧船・発着施設ともに、再生可能エネルギーを活用した事業展開が可能となったことから、次のとおり各種工事を実施しました。

### □主な経過

#### 令和元年度

- ・東京海洋大学と三方五湖の環境条件に適合した電池推進船を開発
- ・電池推進実証船の建造に着手

#### 令和2年度

- ・電池推進実証船を建造し、電池推進システムを含む船体の安全性や耐久性、性能等を確認する実証実験を実施

#### 令和3年度

- ・安全が確認された電池推進実証船を商用船に改修
- ・電池推進遊覧船(2隻目)の建造に着手

#### 令和4年度

- ・新レイクセンター外構、桟橋工事
- ・新レイクセンター建築工事、太陽光システム導入工事
- ・電池推進遊覧船(2隻目)建造中  
(令和5年度完成予定)

## information

所在地	美浜町早瀬第24号4番1
構造	木造平屋建て
面積	本館棟 408㎡ 附属棟 112㎡
営業時間	午前9時～午後5時
休館日	水曜日、年末年始(12/29～1/3)
乗船料 (1時間当たり)	貸切り：50,000円 大人(中学生以上)：1,980円 小人(小学生以下)：990円 未就学児：無料(家族等の保護者と同乗) 障害者手帳所持者：通常料金の半額



遊覧船のコンセプトは「自然と共生する未来創造船」で、将来の遠隔操船や自立運転を可能とする設計としています。外観は、空気抵抗を抑制する流線形とし、湖面の揺らぎをモチーフに曲線を多用する等、次代を創造したフォルムとしています。

動力は電気モーターで、エンジン特有の匂いがなく船酔いが軽減されるほか、運航中の騒音が小さいため、野生動物を間近で観察できます。

定員は40名（椅子席27席）で、船内にはエアコンやトイレを完備。船体後方のデッキでは、三方五湖の風を感じながら、クルージングを楽しめます。

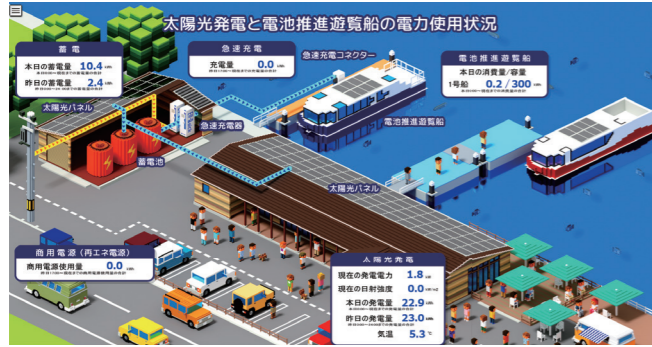


動力源となるリチウムイオン2次電池(300kWh)

再生可能エネルギーを可視化

レイクセンターでは、美浜町エネルギービジョンに掲げる再生可能エネルギーの推進を図るため、建物の屋根に太陽光パネル（52・08kW）を設置し、発電した電力を蓄電（133・8kW）して、船に充電する仕組みを導入しています。

また、その電気の流れを一目で確認できる情報表示モニターを船や建物に設置しており、観光の視点だけではなく、自然・エネルギー学習の場としても活用できます。



↑情報表示モニターに表示される電力の使用状況

船陸間通信システムによりリアルタイムに情報を発信

遊覧船には、カメラとGPSを搭載しており、航行中の映像や位置情報を船内やレイクセンターのモニターで表示しています。これにより、来場者はどこにいても遊覧船の状況を確認できます。



↑運航状況を表示するモニター画面

三方五湖観光の拠点施設として交流人口の拡大を目指します

町では、民間事業者の経営ノウハウを公共施設の管理・運営に生かすため、指定管理者に三方五湖DMO(株)を選定。同社が令和14年3月まで施設の管理・運営を担います。

今後、町では、レイクセンターを三方五湖観光の拠点施設として、指定管理者をはじめ、県や若狭町、レインボーライン等の三方五湖周辺の観光・文化施設等と連携し、交流人口の拡大を図ります。

三方五湖観光のゲートウェイ

レイクセンターは、乗船客の待合室やカフェ、湖を眺望できるウッドデッキのほか、三方五湖を周遊するレンタサイクルコースが可能な賑わい広場も兼ね備えており、レジャー・栈橋では、カヤック等が利用できます。

今後、この施設を三方五湖観光のゲートウェイとして、魅力ある事業を展開していきます。



カフェカウンター・チケットカウンター



レンタサイクル(電動アシスト付き)



附属棟平面図

本館棟平面図

三方五湖周辺の観光資源を生かした持続可能な事業を展開し、美浜・若狭両町の地域の活性化に貢献することを目的として、三方五湖DMO(株)を令和2年4月に設立しました。

弊社では、これまで、自然体験ツアーや子どもキャンプ、教育旅行の企画・運営等を実施し、地域に根差した取り組みを実施してまいりました。

今般、指定管理をさせていただく美浜町レイクセンターは、低炭素社会を見据え、再生可能エネルギーの活用を掲げた先進的な施設で、クリーンなエネルギーで航行する遊覧船をはじめ、三方五湖を周遊するサイクリングステーション機能、更に、人々とのふれあいの場である賑わい広場等、ワクワクするような仕掛けがたくさんあります。

私たちは、地域の宝である三方五湖の歴史や文化を理解し、自然環境の保全に努めながら、多くの



美浜町レイクセンター指定管理者 三方五湖 DMO(株) 代表取締役 竹長 徹 氏

三方五湖の魅力発信し、地域の活性化につなげます

人が集い交流する空間を創出します。

湖上では、電池推進遊覧船を活用した三方五湖クルーズはもちろん、カヤックやペダルボート、更に、東京海洋大学とともに開発したSSEC(再エネを活用した小型船)を提供します。

館内では、カフェにおいて、地元食材を使ったホットドック等を販売し、ウッドデッキ等でゆつくりと過ごしていただける空間を演出します。賑わい広場には、キッチンカーを招き、地域の皆様にも楽しんでいただけるイベントを開催します。

いよいよ、北陸新幹線敦賀開業が来春に迫り、2年後には、日本国際博覧会(大阪万博)も開催されます。

弊社では、国内外からの誘客はもとより、何よりも地域の皆様に愛される場所となるように、さまざまな事業を進めていきたいと思っています。このレイクセンターが起爆剤となり地域の活性化に寄与できるように、周辺の観光・文化施設等と連携を図りながら、取り組んでまいりますので、皆様の温かいご支援をお願いします。